

モニタリング結果報告書における評価基準

1. 総合的な評価における3項目評価

Sは極めて良好な管理運営状況、Aは良好な管理運営状況、Bは一部改善が必要な管理運営状況、Cは抜本的な改善が必要、として、S、A、B、C のいずれかを記載する。

3項目評価においてC評価が1つの場合は合計評価をB評価とし、C評価が2つ以上の場合には合計評価をCとする。それ以外の場合については、次の表のとおり評価を行う。

項目評価	BBB	BBA	BBS	BAA	BAS	BSS	AAA	AAS	ASS	SSS	
3項目評価の合計評価	B		A					S			

なお、施設の特性上、評価項目の「利用状況」または「利用者の満足度」についてS・A・B・Cの評価を付すことができない（評価項目が2つとなる）場合は、次の表を目安とする。

項目評価	CC	CB	BB	CA	CS	BA	BS	AA	AS	SS
2項目評価の合計評価	C		B			A			S	

※平成27年度から利用状況、利用者の満足度及び収支状況の3項目評価を踏まえた「総合的な評価」を行っている。表は3項目評価における評価（S、A、B）の数を示しており、BASなどの並びは問わない（BASもBSAも差異はない）。また、一括募集施設は、2段落目以降の「3項目評価」を「3施設」、「2項目評価」を「2施設」、「項目評価」を「施設ごとの合計評価」と読み替え、一体としての評価を行う。

2. 利用状況

S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満として、S、A、B、C のいずれかを記載。

なお、社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできるが、「目標値」欄には代わりとなる数値（定員数等）があれば記載。

3. 利用者の満足度

「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満として、S、A、B、C のいずれかを記載。

4. 収支状況

収支差額(予算)	評価方法	評価基準
0	収入合計／支出合計の比率	S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
プラス	収支差額(決算)／収支差額(当初予算)の比率	
マイナス	(収支差額(当初予算)－収支差額(決算))／収支差額(当初予算)の比率	S(優良)：5%以上 A(良好)：0%～5%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：-15%～0%未満 C(収支差額(決算)の削減額が当初予算の85%未満)：-15%未満